

【图2】

無處理									乾燥									4℃ 低温									150mM NaCl									乾燥種子				
0									3									7									14									花箱			日	
																											AtGolS1													
																											AtGolS2													
																											AtGolS3													
																											rRNA													

乾葉

250mM NaCl

0 0.5 1 1.5 2 3 5 8(h)

0 0.5 1 1.5 2 3 5 8(h)

AtGolS1

AtGolS2

AtGolS3

rRNA

10⁻⁴M ABA

4°C 低温

0 0.5 1 1.5 2 3 5 8(h)

0 0.5 1 1.5 2 3 5 8 12 18 24 (h)

AtGolS1

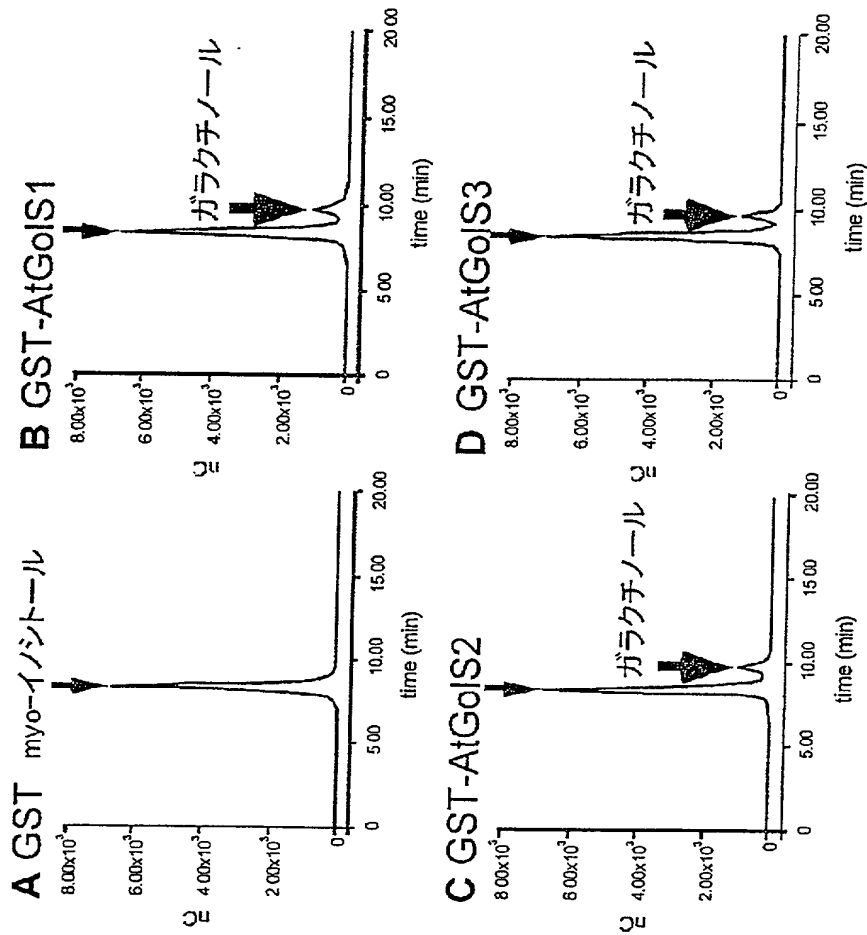
AtGolS2

AtGolS3

rRNA

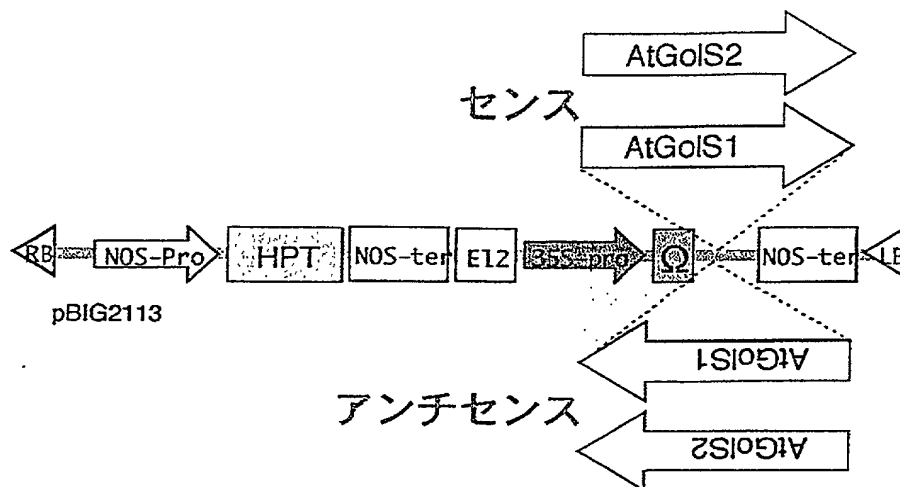
【図3】

GST-AtGoISタンパク質の酵素活性



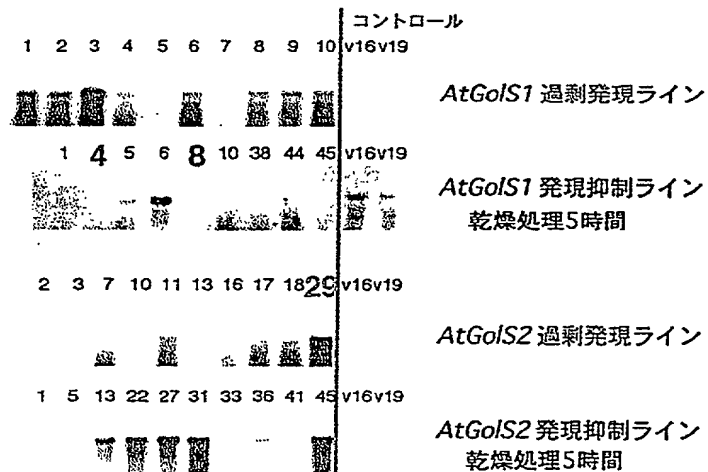
【図 4】

形質転換植物作成用コンストラクト



【図 5】

トランスジェニック植物における導入遺伝子の発現量

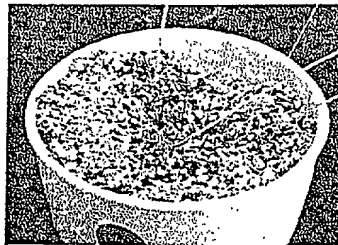


【図 7】

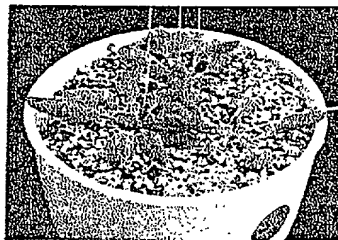
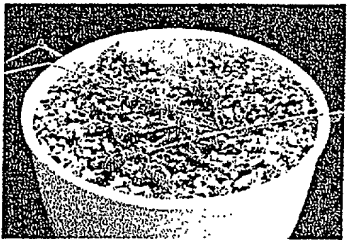
乾燥處理17日後，再吸水

ベクターコントロール

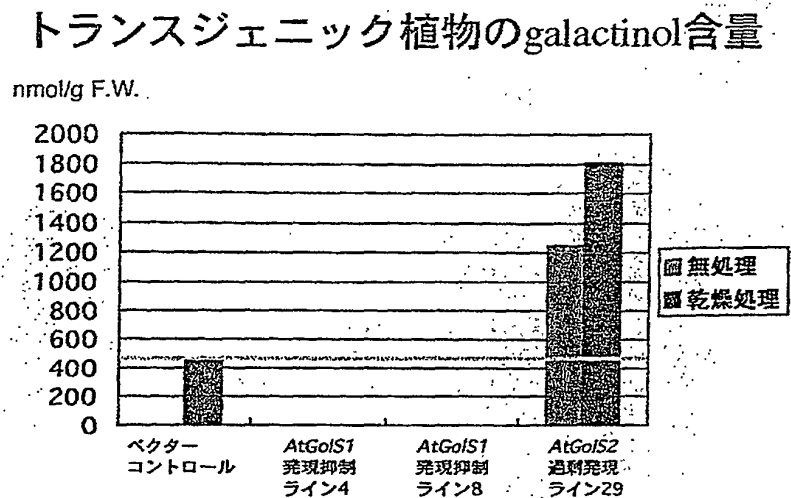
A1GolS2 過剰発現ライン29



AtGolS2 過剰発現ライン29

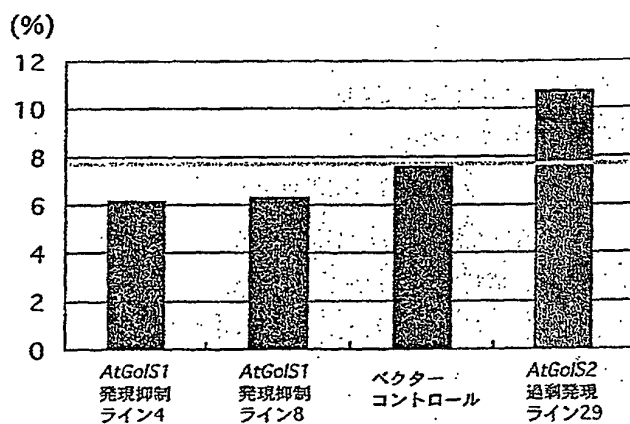


【図 8】



【図 9】

乾燥処理14日目における土植えポットの水分含有率



三

